

平成27年中の議会活動状況

本会議運営状況				委員会等開催状況				
区分		定例会	臨時会	合計	区分		委員会	協議会等
招集回数		4	1	5回	常任委員会	総務委員会	4	4
会期延日数		108	1	109日		教育民生委員会	4	4
本会議日数		28	1	29日		都市経済委員会	4	9
						生活環境委員会	3	2
議案議決内容	議案可決	111	2	113件	特別委員会	議会改革特別委員会	11	
	原案否決	0	0	0件		市庁舎整備等特別委員会	9	
	専決承認	1	2	3件		予算決算特別委員会	6	
	認定その他	8	1	9件				
	計	120	5	125件				
選挙・選任 請願 陳情 決議・意見書		0	3	3件	その他	全員協議会	17	
		6	0	6件		議会運営委員会	23	
		0	0	0件		各派会長会	13	
		1	0	1件		広報広聴委員会	13	

活動状況・意見書・請願

ヘイトスピーチ対策に関する意見書を可決

政府・国会に提出

近年、国内では特定の国籍の外国人や人種、民族を排斥する差別言動、いわゆるヘイトスピーチが行われており、大きな社会問題となっている。最高裁判所は、特定の国籍・民族の外国人に対する言動に関係する裁判で、違法性を認める判決を行った。

また国連は、日本政府に対し自由権規約人権委員会からヘイトスピーチの禁止などの

措置をとるべきとの勧告を行い、同じく人種差別撤廃委員会からも法による規制を含めたヘイトスピーチの適切な対処に取り組むよう強く求めている。

よって、国においては、表現の自由を配慮しながらもヘイトスピーチを根絶するため、法整備を行うなどの特段の措置を講じられるよう強く要望する。

請願審査結果

TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを政府に求める意見書採択のための請願書

農民運動香川県連合会

会長 大塚 久



安全保障関連2法(国際平和支援法、平和安全法制整備

法の廃止を求める国への意見書提出に関する請願

丸亀革新懇

世話人代表 佐々原義幸

丸亀地区労働組合協議会

議長 大西 浩



● 討論

採択を求める討論

横川 重行 尾崎淳一郎

採択しないことを求める討論

山本 直久 大前 誠治

議案の内容

議案の内容

60万円を措置し、予算総額を1億2160万円とするもの

▼議案第86号 介護保険特別会計補正予算(第3号)

▼議案第83号 一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ4億6253万3000円追加し、予算総額を428億7512万2000円とするもの。主な内容は、地域包括ケアを推進するためのクラウドシステム導入業務委託料1510万円、育児用品貸出事業費225万円、歴史的・文化的な観光地への来訪者に文化観光資源の復元映像を提供するアプリケーションの制作等にかかる経費8000万円。寄附金として地域福祉基金積立金に72万8000円を計上。台風11号による災害復旧費として補助金を追加措置するものなど

▼議案第84号 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

国民健康保険診療所特別会計へ60万円繰り出し、予算総額を163億860万円とするもの

▼議案第85号 国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

共済費の標準報酬月額制への移行に伴い一般職員の共済費に

例を制定するもの

▼議案第91号 市税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、税の徴収と換価の猶予規定の追加や、住宅ローン減税期間の延長、市たばこ税の特例税率を廃止するほか、マイナンバー法の施行に伴い、市税申告事項に個人番号と法人番号を追加するもの

▼議案第92号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

▼議案第93号 放課後留守家庭児童会条例の一部改正

児童会を利用できる人の範囲の拡充と一部の児童会で施設を整備し6教室増設するため、所要の改正を行うもの

▼議案第94号 第111号 指定管理者の指定(各コミュニティセンターほか1施設、生涯学習センターほか1施設、手島自然教育センター、市民体育館ほか11施設、市民会館)

平成28年4月から指定管理者にそれぞれの施設の管理を行わ

せるため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの

▼議案第112号 総合整備計画の策定(本島町辺地)

本島町辺地を整備するため、財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの

▼議案第113号 町の区域の変更

地籍調査に伴い境界を地形上明確なものとするため、塩屋町の一部と天満町の一部を変更することに付いて、議会の議決を求めるもの

▼諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦

委員の任期満了に伴い、常井美代子氏ら3氏を推薦するに当たり、議会の意見を求めるもの

▼意見書案第1号 ヘイトスピーチ対策に関する意見書

ヘイトスピーチを根絶するために、国等に対し法整備等の措置を講じるよう強く求める意見書の議決を求めるもの

▼議員派遣第5号 議員派遣について

議員派遣について、議決を得るもの

質疑

質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

加藤 正員

①一般会計補正予算（地方創生先行型上乗せ交付）②行政組織条例の一部改正③個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

中谷真裕美

一般会計補正予算（塵芥処理費、し尿処理費、ごみ収集運搬業務委託、各コミュニティセンター指定管理料）、各コミュニティセンターの指定管理者の指定

マイナンバー制度 不安に対する方策は

◎加藤議員 国の見通しの甘さもあり、マイナンバー制度について市民の不安が高まっている。そこへ市としてマイナンバーの独自利用を定める条例が提案されたが、市民の不安を取り除く取り組みが求められる。通

知カードの遅配、情報流出の不安、成り済ましなど、どのような方策を取るのか。

▲総務部長 本市住民登録者への初回発送は11月末までに完了したとのことである。受け取られず市民課へ返戻されたカードは平成28年3月末まで市民課で保管しているので、ご確認いただき、受け取りに来ていただきたい。情報流出については、システムにアクセスできる職員の制限、不正アクセスが不可能な専用回線の使用、外部へのデータ持ち出しができないシステムなど、様々な対策を講じている。成り済ましについては、個人番号のみでの本人確認は認めず、通知カードと正しい持ち主であることを確認できる証明書類での身元確認が必要であり、厳格な本人確認を行うこととなっている。これらの不安や疑問に、地方自治体として可能な限り答えるべく、国、県とも協力して周知広報に努めたい。

ごみ収集

なぜ時間外対応か

◎中谷議員 塵芥処理費とし尿

処理費の時間外勤務手当が当初予算の6割増となる計900万円増額補正されているが、なぜこれだけの増額が必要となったのか。

また、島しょ部の追加ごみ収集を平日ではなく休日に行った理由と、なぜ当初予算で計上でできなかったのか。また、来年度以降も時間外勤務で島しょ部のごみ収集を続けるのか。

▲生活環境部長 本年度途中から本島、広島での夏季の可燃ごみの収集を週1回から2回に拡充できたための増額である。島しょ部は通常水曜日に可燃ごみの収集をしているため、2回目の収集を平日に行うことが難しかったことから、時間外勤務で休日に収集したものである。

陸地部は週2回の可燃ごみ収集ができていたが、島しょ部は週1回しか収集できていなかったものを少しでも改善しようとしたものであり、週2回、平日に収集する体制を整えたいが、早急には難しい。

本島と広島は夏季2回ごみ収集は今後も継続したいので、新年度は当初予算に手当も含めて計上したい。

討論

議案に賛成×反対の意見を表明します。



《反対討論》尾崎淳一郎

①議案第83号 一般会計補正予算（ごみ収集運搬業務委託、し尿収集運搬業務委託）

②議案第90号 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

③議案第91号 市税条例の一部改正

理由 ①本市のごみ収集業務の民間委託導入は、行政スリム化とコスト削減を目的としてきた。確かに職員数は減ったが、一方で、委託料は10年増え続けている。導入前と現在の人件費と委託料の合計額を比較すると、ほとんど変わらない。民間委託の検証が必要であり、ごみやし尿収集は、市の直営が望ましいと考えるため反対する。

②③マイナンバー制度の持つ根本的な矛盾、個人のプライバシーを侵害する危険性が高く、準備不足であるなど、多くの問題があるため賛成できない。

委員会審査

一般会計補正予算など

各委員会でも原案承認

本会議で各常任委員会に付託された議案と請願は、10日に都市経済と生活環境、11日に教育民生と総務委員会が開かれ、市長や副市長、担当部長などが出席し、審査を行いました。
主な質疑は次のとおりです。

都市経済委員会

主な質疑

- 今回の農業関係補正予算はT P P対策と関連があるか
- 多面的機能支払交付金事業でどのようなことをするのか
- 果樹産地総合事業補助金は、専業・兼業関係なくすべての桃農家が対象なのか
- 質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

生活環境委員会

主な質疑

- 北消防署新訓練塔兼資機材保管庫整備事業は、どのような施設を想定しているのか
- 全体構想を策定し、土地利用計画を示した上で予算執行すべきではないか
- 休日のごみ収集時間外勤務手当は、来年度も続くのか
- 体育施設の指定管理者の評価結果で一部低い評価点が見られるが、今後どのように改善を求めていくのか

委員会審査

るが、今後どのように改善を求めていくのか
質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

教育民生委員会

主な質疑

- 子育て応援育児用品貸出事業について、事業を拡大していく考えは
- 子育て応援育児用品の貸出し手続きが簡単になるよう検討しているか
- 丸亀城他復元アプリケーション制作事業について、他の史跡にも展開していく考えは
- 中央図書館の空調設備について、なぜ今まで改修してこなかったのか
- 青い鳥教室の支援員の配置予定はどのようになっているか
- 医療介護連携クラウドシステム導入によってどのような効果が見込まれるか
- 生活保護費補正に関連して、生活扶助や住宅扶助など他の扶

総務委員会

主な質疑

- 機構改革で、以前の部に戻すだけなのか
- 人件費や残業代などは、どの費目から支出するのか
- 部の編成の基本的な考え方は
- 議案第90号を制定することで、市民にとって何が変わるのか
- 議案第91号で徴収猶予が規定されているが、これまでも猶予など個別に対応していたのではないか
- 質疑の後、議案第90号、第91号について、番号法に不安があるので反対するとの討論があり、挙手採決の結果、委員会に付託された議案はすべて承認しました。
- また、請願第5号、第6号には、採択と不採択の討論があり、挙手採決の結果、請願2件を不採択としました。